

令和 7 年度紙類収集処理業務(単価契約)仕様書

(目的)

第 1 条 この仕様書は、紙類収集処理業務委託の委託業務要領を定めるものである。

(委託業務)

第 2 条 委託業務の内容は、赤磐市内一般家庭から収集場所等に排出される紙類の収集処理業務とする。

また、赤磐市へ売払い金額から収集費用等を差し引いた差額を納入する。

(委託業務の履行)

第 3 条 業務を行なうにあたっては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」、「赤磐市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」等収集処理等に関する関係法令を遵守し、赤磐市の定める収集処理計画に従って誠実、完全に業務を履行すること。

(委託期間)

第 4 条 委託業務の期間は、令和 7 年 6 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までとする。

(業務内容)

第 5 条 赤磐市の一般家庭から指定された収集場所等に排出される紙類の収集処理業務とする。委託する資源化物は次のとおりとし、年間予定数量は別紙のとおりとする。

- (1) 新聞
- (2) 雑誌・雑がみ
- (3) 段ボール
- (4) 紙パック
- (5) シュレッダー

(委託の区域等)

第 6 条 業務委託の区域は赤磐市内全域とし、市が指定する収集場所等とする。収集箇所数等は別紙のとおりとする。なお、資源化物集積所は年度中に増加や位置等の変更がある。

(委託料の単価)

第 7 条 委託料については 1kg 当りの単価とし売払い金額から収集費用を相殺した単価とする。

(業務履行要領及び条件)

第 8 条 委託業務の履行においては、以下に掲げる業務要領及び条件を遵守すること。

- (1) 市の収集計画に従い、収集場所等に排出された紙類を定められた日時に巡回収集すること。
- (2) 紙類の収集日が、祝日となった場合についても収集を行なうこと。
- (3) 収集は、午前 9 時から行い通常の場合正午までに終了すること。
- (4) 収集作業は、速やかに行なうとともに、資源化物の収集チェック等行ない収集漏れを防止すること。

- (5) 収集場所に備え付けられた分別コンテナ・名札プレート・ビニールシート等の分別グッズは、所定の場所に収納すること。
- (6) 雑がみの種類は、雑誌と一緒に紐で十字に縛って出したものと、芯類・緩衝材類等の縛れないものの2種類を収集するものとする。
- (7) 収集場所等での分別違反物の取り扱いについては、監督員の指示に従うこと。
- (8) 収集作業中は、周囲の人や車の安全を妨げることをないように十分配慮して行ない、収集後は、収集場所等の清潔保持に努めること。また、運転中は、道路等への積載物の飛散防止に努め、交通法規を遵守すること。
- (9) 収集作業終了後に計量報告書を作成し、監督員に報告すること。
- (10) 委託業務の履行中は、行政業務の受託業務であることを十分に認識し、住民サービスに努めること。万一住民との間で問題が生じた場合は、速やかに監督員に報告しその指示に従うこと。

(秘密の保持)

第9条 受注者は、委託業務履行上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

(協議事項)

第10条 本仕様書に定めるもののほか、必要事項は、発注者と受注者協議の上、決定するものとする。

(その他)

第11条 入札に際しての注意事項は、以下のとおりである。

- (1) 本仕様書に関する疑義等については、令和7年4月24日(木)16時までに赤磐市役所財務部管財課担当者あてFAXで行うこと。

別紙

年間予定数量

単位：Kg

地域	新聞	雑誌・雑がみ	段ボール	紙パック	シュレッダー	合計
A地域	17,000	14,000	9,000	300	500	40,800
B地域	12,000	10,000	5,000	300	0	27,300
C地域	12,000	10,000	6,000	300	80	28,380
D地域	12,000	10,000	6,000	200	30	28,230
合計	53,000	44,000	26,000	1,100	610	124,710

資源化物集積所数

地域	収集場所	箇所数	収集頻度
A地域	資源化物集積所（公共施設含む）	4 7 箇所	毎月
B地域	資源化物集積所	6 3 箇所	毎月
C地域	資源化物集積所（公共施設含む）	5 2 箇所	毎月
D地域	資源化物集積所（公共施設含む）	5 7 箇所	毎月
合計		2 1 9 箇所	